



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

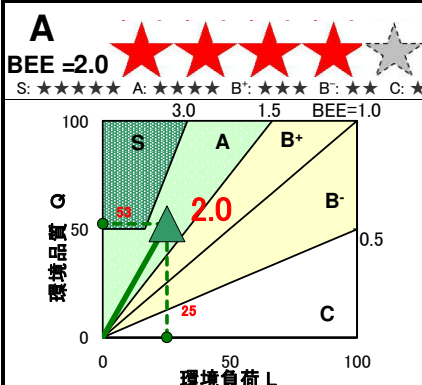
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)DG日本橋ビル
建設地	浪速区日本橋東2丁目
建築用途	事務所
建築主	(株)デンキョーグループホールディングス
設計者	(株)東畑建築事務所
敷地面積	1,407.41 m ²
建築面積	700.77 m ²
延床面積	3,827.67 m ²
構造/階数	S造 / 地上7階、地下1階
完了年(予定)	2023年7月

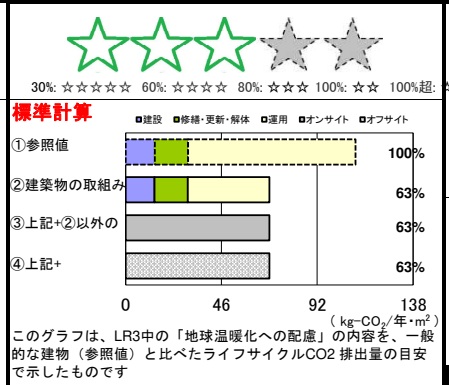
1-2 外観



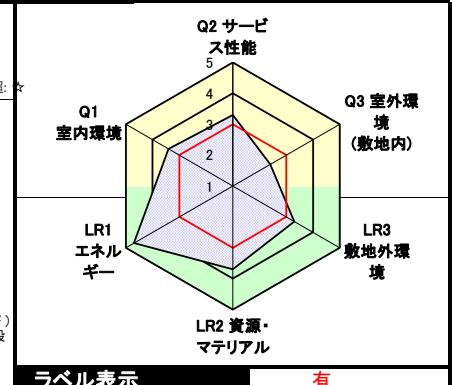
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



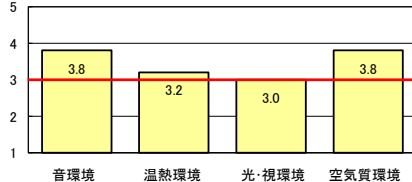
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.1

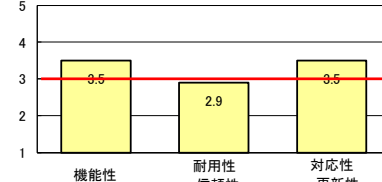
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4



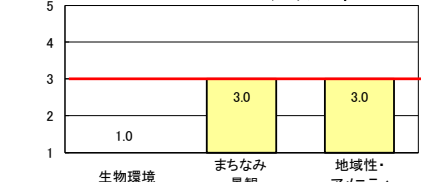
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

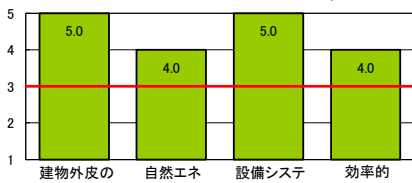


LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

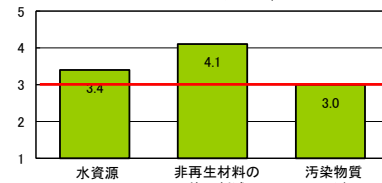
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7



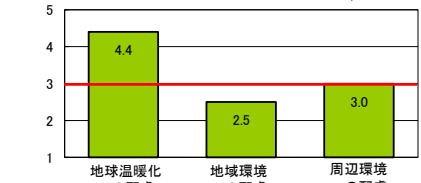
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項

総合

DGの社員がシナジーを向上させ、いきいきと働けるスマートウェルネスオフィスビルを目指すとともに、快適・安全・長寿命で、地域や地球環境と響きあう建物を計画した。

その他

Q1 室内環境

音環境について、T-2以上のガラス、サッシの採用、T1 d 60遮音壁、室内は3面以上吸音材を用いるなど配慮した。
空気質環境について、機械換気量、自然換気量共を十分に満たすことで感染症対策に配慮した。

Q2 サービス性能

家電を取り扱う会社であるので、家庭のリビングのようなやわらかな雰囲気を目指し内装計画を行うとともに、リフレッシュスペースの充実を図り、社員が生き生きと働ける環境を計画した。

Q3 室外環境(敷地内)

緑地面積の確保、まちなみに馴染む外観等、周辺環境に配慮した。

LR1 エネルギー

75mmの断熱材やLow-E複層ガラスを採用し、建物外皮の熱負荷抑制を図るとともに、BEI=0.50達成を目指した。また、昼光センサーでの自然エネルギーの活用、BEMSの採用で効率的運用を行い、建物のエネルギーに配慮した。

LR2 資源・マテリアル

節水型器具・擬音装置の採用で水資源保護を図った。既存地下躯体を地下階及び機械式駐車場ビットに再利用し、LGS工法、OAフロア、可動間仕切りの採用により、非再生性資源の使用量を削減を図った。

LR3 敷地外環境

高効率機器・BEMSの採用により、ライフサイクルCO2を抑え、地球温暖化に配慮した。附置義務駐車場の条例に適合し、加えて、必要台数の6倍の駐車台数を確保することで地域インフラへの負荷抑制を図った。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 2.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.4
配慮事項	

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/ 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/ 温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.78
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.50	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.50